

# リニア駅周辺まちづくり イノベーション戦略 (概要版)

令和7年11月  
相模原市

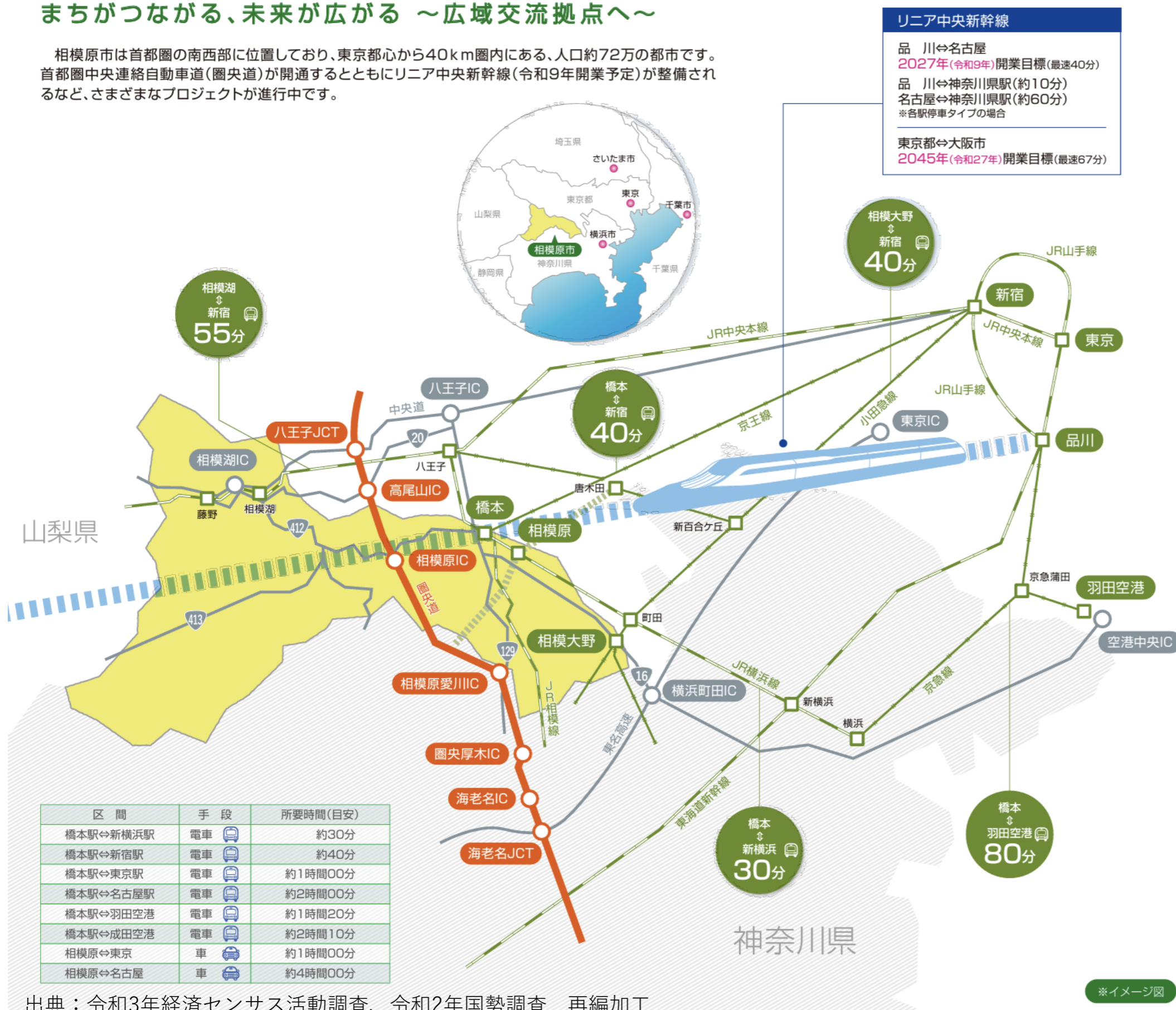


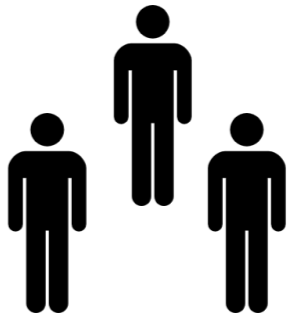
# 相模原市の概要

神奈川県北部に位置する、人口約72万人の政令指定都市。市内には中小～大手製造業の生産拠点・研究拠点が集積し、JAXA相模原キャンパスも立地。現在、橋本駅周辺で新たなまちづくりが進行中です。

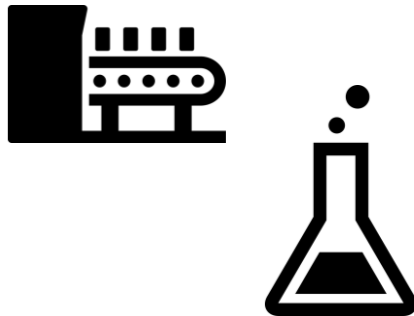
## まちがつながる、未来が広がる ～広域交流拠点へ～

相模原市は首都圏の南西部に位置しており、東京都心から40km圏内にある、人口約72万の都市です。首都圏中央連絡自動車道(圏央道)が開通するとともにリニア中央新幹線(令和9年開業予定)が整備されるなど、さまざまなプロジェクトが進行中です。

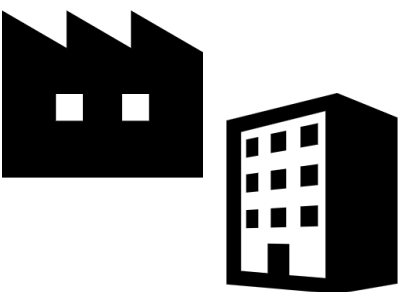




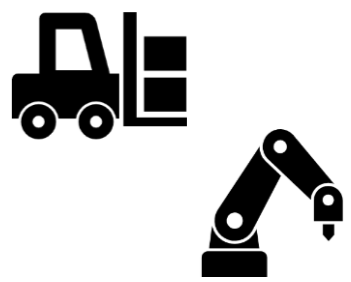
人口  
約**72万人**



専門的・技術的職業従事者数  
約**6.5万**



事業所数  
約**2.2万**



製造品出荷額  
約**1.2兆円**



リニア中央新幹線神奈川県駅(仮称)が設置される橋本駅周辺の様子

※イメージ図

出典：令和3年経済センサス活動調査、令和2年国勢調査 再編加工

# 相模原市産業と産業政策の歴史

工場誘致条例の施行を契機に工業を中心に産業が集積。現在は、市内に蓄積された多様な産業アセット・リソースと連携し、研究開発・事業開発、スタートアップ支援、ロボット産業政策を中心に新たな価値・イノベーションを生み出す拠点形成を推進しています。



## 1950s～1990s



- 工場誘致条例を施行（S30）し、24社が立地。その後も様々な企業が立地
- 現在までに11の工業団地が整備
- 京王相模原線橋本駅開業（H2）

## 2000s～



- インキュベーション施設としてさがみはら産業創造センターを設置（H12）
- 産業の空洞化を背景に、産業集積促進条例（STEP50）を施行（H17）

## 2010s～



- リニア中央新幹線神奈川県駅（仮称）を橋本駅周辺に設置することが決定（H25）
- ロボット産業政策の開始（H26）

## 2020s～



- スタートアップ支援、アクセラレーションプログラムの開始（R4）
- イノベーション創出促進事業開始、FUN+TECH LABOの整備と、神奈川県・相模原市・JR東海3者連携協定締結（R5）



# 相模原市リニア駅周辺まちづくりガイドライン

リニア中央新幹線神奈川県駅（仮称）設置と合わせて実施する橋本駅南口周辺における再開発事業（約13.7ha）。まちづくりのコンセプトとして、「新たな価値を創造する土壌の形成」、「先端技術の拠点化」、「環境共生型ライフの実現」を掲げています。

● 各ゾーン間の機能連携による循環・発展のイメージ



## 駅まち一体牽引ゾーン

- ・ 広域交流機能と複合都市機能を併せ持つ、駅と街区が融合した「駅まち一体のまちづくり」を牽引するゾーン。
- ・ 京王駅の移設を契機に、在来線駅の結節点で新たなまちの顔として中心的な賑わいを形成しつつ、交通広場と連携した交通結節機能や南北のまちをつなぐ歩行者空間を整備します。
- ・ 駅を起点としたまちの利便性向上と、駅とまちの一体感の醸成、まち全体へ賑わいの波及に貢献します。

## 複合都市機能ゾーン

- ・ 働きやすさ、住みやすさ、過ごしやすさを兼ね備えた、誰もが心地よく過ごせるゾーン。
- ・ 子どもから高齢者まで様々な世代の活動を支える複合的な都市機能の導入を図るとともに、回遊動線と滞留・憩いの場を形成します。
- ・ 複合的な都市機能と空間の融合により、橋本ならではのライフスタイルを実現します。

## 広域交流ゾーン

- ・ 圏域全体の観光、物産、産業等に関する交流や情報発信の拠点となるゾーン。
- ・ 交通広場と連携した交通結節機能や広場機能の導入を図るとともに、まちの発展に合わせ、多様な人々の交流を促す空間を創出し、社会課題の解決を目指した実装や実証などのトライアルを行うことで、まち全体の新たな魅力を創造します。

## ものづくり産業交流ゾーン

- ・ 地区内外への産業集積を牽引するゾーン。
- ・ 研究、インキュベーション、交流等の機能の導入を図るとともに、情報発信やイベントの開催等により、交流・連携を促進します。
- ・ 先行的な土地利用を視野に入れ、圏域内外のものづくり産業の更なる発展や新たな技術創造に貢献します。

## 2. まちづくりのコンセプト

リニアでつながる

一步先の未来を  
叶えるまち橋本



# リニア駅周辺まちづくりイノベーション戦略の概要

## ビジョン

プロダクトイノベーションを生み出すハブ拠点とイノベーションエコシステムを形成し、テクノロジーの社会実装によりワクワクするまちを創り、首都圏、日本中央回廊を繋ぐ「イノベーション・リンク」を形成する

## I. Product Innovation Hub

- モノづくりの力でビジネスを「一歩先」へ

研究・開発・製造がワンストップで実現する「プロダクトイノベーション」の拠点となり、首都圏、日本中央回廊における、メーカー群のイノベーションハブの役割を担います。リニア駅・橋本駅周辺から、メーカーの新展開を促進する、「研究開発都市」への進化を目指します。

## II. Innovation Ecosystem

- 共創でアイデアやチャレンジを「一歩先」へ

国内外の企業、研究者、スタートアップ等、様々な人が立場を超えてつながり、共創することで新たなチャレンジが促される基盤としての「エコシステム」を形成します。イノベーション創出に必要な様々な要素をリニア駅・橋本駅周辺に確立し、自立的・持続的なイノベーションエコシステムの構築を目指します。

## III. Technology & Fun

- 先端技術の力で「一歩先」の未来へ

基礎研究、応用研究や様々なビジネスアイデア、技術シーズの受け皿となり、その成果をまちに展開することで、まち全体で技術の社会実装を推進します。先端技術が全国から集まり、イノベーションを体感できるワクワクするまちを目指します。

## 目標

【目標1】 県央・多摩地域等と連携した、リニア駅周辺広域イノベーションバレーの形成

【目標2】 事業開発・研究開発を促し、イノベーションエコシステムを形成

【目標3】 グローバルなネットワークの確立と交流の場の形成

【目標4】 イノベーション創出の文化とプライドの醸成

【目標5】 リニア駅周辺を中心とした実証・実装プラットフォームの形成

【目標6】 先端技術を有する企業の研究開発機能、研究機関、大学研究室の誘致・集積

## 戦略

戦略① 広域的な産官学のビジネスコミュニティ・ネットワークの形成

戦略② デジタル・ロボット、宇宙、モビリティ関連産業に係る研究開発・事業開発の推進

戦略③ 市内企業の新規事業開発、研究開発の活性化とオープンイノベーションの促進

戦略④ 県央・多摩地域等をはじめ、国内の大学・研究機関との連携強化、ネットワークの構築・拡大

戦略⑤ 技術系ベンチャー・スタートアップを始めとした、多様なスタートアップの創出と成長支援

戦略⑥ 海外の企業・大学・支援機関等との連携強化、ネットワークの構築・拡大

戦略⑦ 先端技術の地域実装と、まちづくりや市民へのフィードバックによるブランディングの推進

戦略⑧ 実証環境の拡大と実証エリア化の推進

戦略⑨ 事業開発・研究開発を促進するオフィスや研究施設等の立地・拡充推進

戦略⑩ デジタル・ロボット、宇宙、モビリティ産業を中心とした、企業・研究機関等の誘致・集積

## 施策



市内企業のオープンイノベーション型の研究開発・事業開発支援（オープンイノベーションの推進）



市内企業のオープンイノベーション型の研究開発・事業開発支援（オープンイノベーションの推進）



スタートアップ支援プログラム（スタートアップ企業の創出・支援）



広域的スタートアップ支援ネットワークの形成と技術系ベンチャー支援（スタートアップ支援ネットワーク、コミュニティの形成）



さがみロボット産業特区、ロボット企業交流拠点（国際戦略総合特区への指定、ビジネスコミュニティの形成）



KEIO 新たなサービスやプログラムによる他種創出で、橋本駅周辺のまちづくりに伴う幸せな暮らしを実現



ビジネスアクセラレーターかながわへの橋本でのエリアオープンイノベーションプログラム「ROOOT」参加等（京王電鉄）



戸田建設・ロボットビジネス協議会によるロボットフレンドリー実証事業の実施（戸田建設・さがみはらロボットビジネス協議会）

- ロボットフレンドリーな環境構築・実証実験支援の検討
- デジタル・ロボット、宇宙、モビリティ産業に属する民間企業、大学、研究機関や神奈川県との連携による先端技術に係るプロジェクトの誘致と協力体制の構築、会議体等の構築
- ものづくり産業交流ゾーンへの、公共（県市連携）による研究開発拠点の整備の検討・可能性調査
- 民間開発事業者のオフィス等の業務施設の整備・設置や、立地に対する支援の検討
- 宇宙産業に係る産業振興施策の検討
- 海外との連携による、ビジネスコミュニティ・ネットワークの拡大
- 国家戦略特区制度を活用した規制緩和の実現
- 都市再生緊急整備地域内における民間都市再生事業計画を活用した開発促進
- 次世代通信等デジタルインフラ整備
- まちづくりと連動したテクノロジー導入
- 先端技術のテストベッドエリアの形成のためのネットワーク構築
- 技術系人材のマッチングの仕組みの構築

※枠内は今後実施を検討する内容

# 価値創造プロセス



## リニア沿線地域

画像提供：JR東海

### リニア沿線地域における交流のハブ

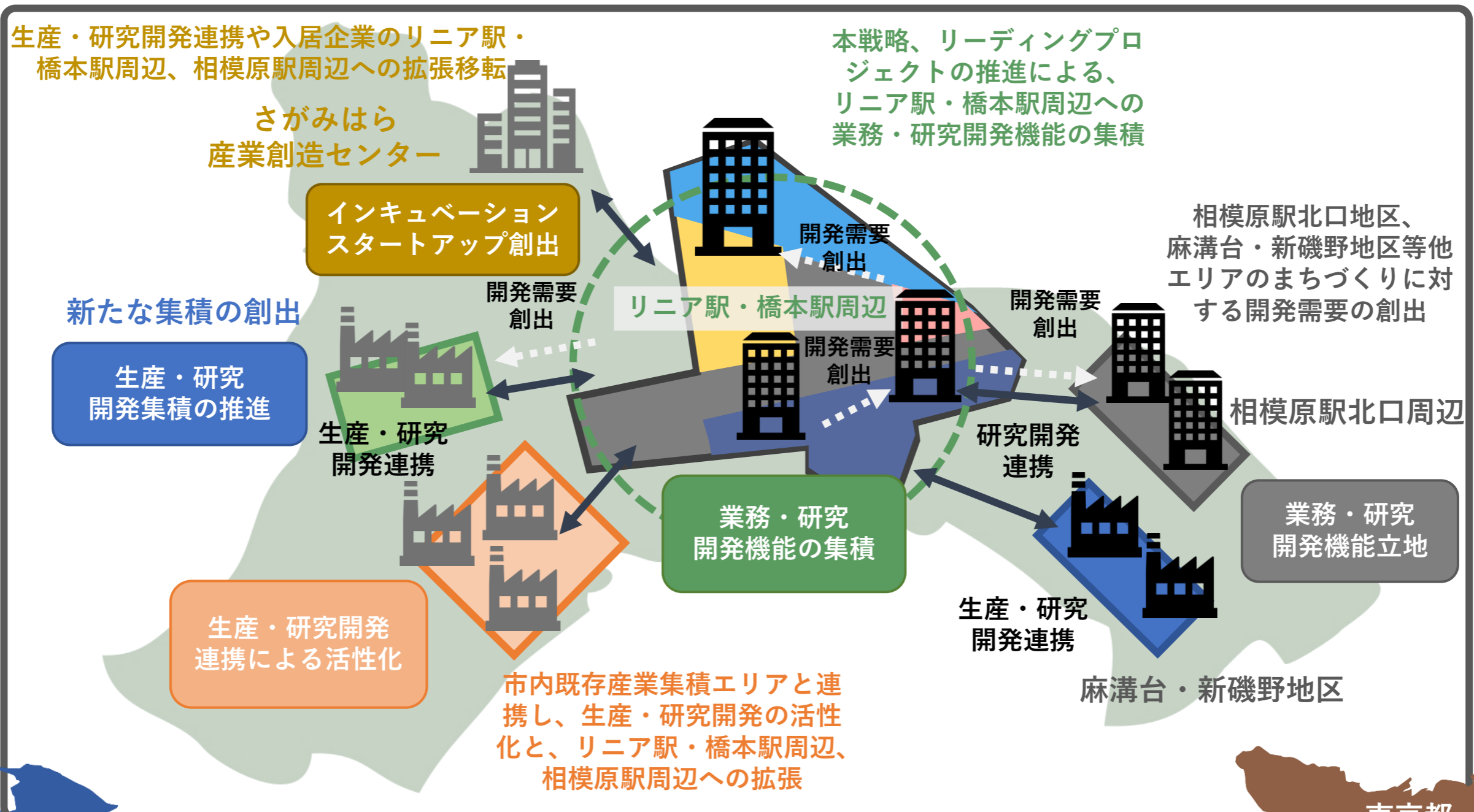
リニア沿線地域の産業リソースと相模原市、ハブ機能としてのリニア駅・橋本駅周辺との連携機会の増加と、日本中央回廊の産業発展への貢献

### 地域価値創出とエリアの魅力向上

本戦略、リーディングプロジェクトの推進による、産業・ビジネスの場としての価値の創出により、研究開発の拠点、開発・投資エリアとしての魅力の向上



研究開発・事業開発  
開発投資



神奈川県

### 県内のデジタル&ロボティクス、宇宙、モビリティの中心拠点

神奈川県央の産業リソースと相模原市、ハブ機能としてのリニア駅・橋本駅周辺との連携機会の増加と県内産業の発展への貢献

### 東京都心部周辺や海外地域と連携する研究開発・プロダクト化拠点

多摩地域の産業リソースと相模原市、ハブ機能としてのリニア駅・橋本駅周辺との連携機会の増加



東京都

グローバル